

意見回答書

作成日 R7年 10月 1日

太陽光発電施設の設置予定場所	上田市生田字上平1004、1005
----------------	-------------------

意見（質問・要望）	陳述者・提出者	回答
工事期間はどのくらいになりますか？	説明会参加者	設備の設置自体は2 ヶ月ほどになります。 電気連系まで含めると1～1 年半くらいになります。
他の市町村で、条例違反の案件がありましたが、本件は市の条例に沿ってやっていきますか？	同上	市と県の条例に沿って行わせていただきます。 行政への申請は既に行っており、本日の説明会も条例に則って行っております。
当該地の傾斜は緩いとは思いますが、土砂災害等の規制は大丈夫ですか？	同上	当該地はハザードマップに該当しておりません。
用地は購入ですか？賃貸ですか？	同上	購入となります。
事業終了後はどうなりますか？	同上	原状復旧となります。設備は解体により銅線、アルミ、鉄など売却できますのでリサイクルする為撤収いたします。但し、現状30 年以降もパネルを新しい物に変更し、事業継続を行う予定でおります。
完成後、他業者へ売却するのですか？	同上	欲しい業者さんが現れましたら売却いたします。
売却した際に、本日のようなルールは守っていただけののですか？	同上	協定書を結ばさせていただきますので、そのまま引継ぎを行わせていただきます。
側溝は素掘りですか？	同上	素掘り側溝で計画しております。
完成図面と工程表を区長にお渡ししてください。	同上	承知いたしました。
鳥獣保護フェンスはどうなりますか？	同上	フェンス部分は分筆し、現地主様が引き続きご所有されますので、現状とかわりありません。また、フェンス周りも人が歩けるほどのスペースは確保いたします。
協賛金（区費）はお支払いいただけますか？	同上	もちろんお支払いさせていただきます。

道幅が狭いですが、トラックは通りますか？	同上	2t 車であれば通れると思います。フェンス等ありますが、事故の無いようご迷惑をおかけしないよう努めます。
地面の転圧は行いますか？	同上	重機で行います。
雨水のオーバーフローが心配です。	同上	基本的には場内浸透で定められています。雨水計算により側溝の容積を算出しております。必要量の1.3 倍以上の計算で側溝を掘り場内に浸透させます。また、追加で深く掘ることも可能です。実績ベースとなっておりますが弊社は10 年近く発電所を作っております。土砂災害等トラブルはありません。緊急時はすぐに上田から駆けつけますので資料の緊急連絡先へお電話下さい。
防草シートは使用しますか？	同上	今回の予定地では防草シートを使用せず、雑草対策としては定期的に草刈りを行います。
太陽光発電についてですが、森林伐採や景観の破壊に反対です。また、パネルによる温暖化についても、懸念しています。ここは上田市街地よりも2 度ほど気温が低い日もある場所です。今ただでさえ暑いのに、少しでも影響が出るのは嫌です。現在、日本各地で太陽光発電の自然破壊が問題になっているかと思いますが、身近な大好きな場所でこういった問題に直面し、とても残念に思っています。どうか自然を壊さないでほしいです。私たちの住む場所を壊さないでほしいです。	メールへの意見	ご指摘の通り、景観や環境への影響、また日照や生活環境への可能性については、私どもとしても真摯に受け止め、丁寧に検討してまいります。 あわせて日本における主なエネルギーには、原子力発電、火力発電、再生可能エネルギーがありますが、それぞれに大きな特徴と課題がございます。 ・火力発電は、即時の需要に対応できる安定性がメリットですが、燃料を大量に消費し、CO₂を膨大に排出することから、地球温暖化を加速させる最大級の要因となっています。また、燃料の多くを海外に依存しており、国際情勢や価格変動によるリスクも非常に高いと言わざるを得ません。長期的には、環境負荷だけでなく経済的なリスクも抱えていることから、持続可能なエネルギーとは言い難い面があります。

	・原子力発電は、発電時にCO₂をほとんど排出しない点は評価できますが、原発事故が発生した場合、その影響は一地域にとどまらず、日本全体が医療・経済・環境など多方面で大きな負担を負うリスクがあります。廃棄物処理や安全性などの課題も依然として残っています。 ・太陽光発電は、発電時にCO₂や大気汚染物質を排出せず、燃料も消費しないため、持続可能なエネルギーとして非常に期待されます。ただし、設置には景観への影響や土地利用上の制約、日照や周辺生活環境への配慮が必要です。 私どもは、「これからの地球環境のために、どのエネルギーをどのように増やしていくことが持続可能か」という視点を持ちつつ、太陽光発電も慎重に検討すべき有力な選択肢と考えております。 弊社では、設置にあたっては環境への負担を考慮し、景観や土地利用にも配慮しております。具体的には小規模の発電所を分散して設置することで、地域への負荷を抑えつつ、非常時の電源としても活用できる体制を整えています。このように、地域社会との調和を大切にしながら、安全で持続可能なエネルギーの供給を目指しております。これからも地域の皆様に丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、安心して受け入れていただける形を模索してまいります。 「地球環境を守ること」と「地域社会の暮らしを守ること」を両立させることが、私どもの責任であると考えております。
--	--